

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

IN RE APPLICATION OF: Kohich KANAYA

GAU: Unassigned

SERIAL NO: New Application

EXAMINER: Unassigned

FILED: Herewith

FOR: APPARATUS AND METHOD FOR VISUALLY REPORTING JOB PROGRESSING CONDITION

REQUEST FOR PRIORITY

COMMISSIONER FOR PATENTS
ALEXANDRIA, VIRGINIA 22313

SIR:

- ☐ Full benefit of the filing date of U.S. Application Serial Number _____, filed _____, is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §120.
- ☐ Full benefit of the filing date(s) of U.S. Provisional Application(s) is claimed pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119(e):
Application No. **Date Filed**

☒ Applicants claim any right to priority from any earlier filed applications to which they may be entitled pursuant to the provisions of 35 U.S.C. §119, as noted below.

In the matter of the above-identified application for patent, notice is hereby given that the applicants claim as priority:

<u>COUNTRY</u>	<u>APPLICATION NUMBER</u>	<u>MONTH/DAY/YEAR</u>
Japan	2002-320052	November 1, 2002

Certified copies of the corresponding Convention Application(s)

- ☒ are submitted herewith
- ☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee
- ☐ were filed in prior application Serial No. _____ filed _____
- ☐ were submitted to the International Bureau in PCT Application Number _____
Receipt of the certified copies by the International Bureau in a timely manner under PCT Rule 17.1(a) has been acknowledged as evidenced by the attached PCT/IB/304.
- ☐ (A) Application Serial No.(s) were filed in prior application Serial No. _____ filed _____; and
- ☐ (B) Application Serial No.(s)
☐ are submitted herewith
☐ will be submitted prior to payment of the Final Fee

Respectfully Submitted,

OBLON, SPIVAK, McCLELLAND,
MAIER & NEUSTADT, P.C.



Gregory J. Maier

Registration No. 25,599

Customer Number

22850

Tel. (703) 413-3000
Fax. (703) 413-2220
(OSMMN 05/03)
I:\ATTY\SNS\24\S\244226\PRIORITY REQUEST.DOC

Surinder Sachar

Registration No. 34,423

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日 2 0 0 2 年 1 1 月 1 日
Date of Application:

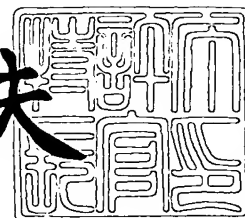
出 願 番 号 特 願 2 0 0 2 - 3 2 0 0 5 2
Application Number:
[ST. 10/C] : [J P 2 0 0 2 - 3 2 0 0 5 2]

出 願 人 株 式 会 社 リ コ ー
Applicant(s):

2 0 0 3 年 1 0 月 9 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

今 井 康 夫



出証番号 出証特 2 0 0 3 - 3 0 8 3 4 5 1

【書類名】 特許願

【整理番号】 0202358

【提出日】 平成14年11月 1日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 3/12
B41J 29/38
G06F 13/00 351

【発明の名称】 画像処理装置およびそのジョブ結果通知方法

【請求項の数】 4

【発明者】

【住所又は居所】 東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号
株式会社 リコー内

【氏名】 金谷 浩一

【特許出願人】

【識別番号】 000006747

【氏名又は名称】 株式会社 リコー

【代表者】 桜井 正光

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 003724

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 画像処理装置およびそのジョブ結果通知方法

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワークに接続された画像処理装置において、入力された画像データについてサムネイル画像データを作成するサムネイル画像作成手段と、指示された実行中のコピージョブまたは印刷ジョブが完了したか、または何らかの理由により中断したとき、前記ジョブの先頭ページのサムネイル画像データを添付した電子メールを前記ジョブ要求元のメールアドレスに対して送信する送信手段と、を備えたことを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】 ネットワークに接続された画像処理装置のジョブ結果通知方法において、指示された実行中のコピージョブまたは印刷ジョブが完了したか、または何らかの理由により中断したとき、前記ジョブの先頭ページのサムネイル画像データを添付した電子メールを前記ジョブの要求元のメールアドレスに対して送信することを特徴とするジョブ結果通知方法。

【請求項 3】 ネットワークに接続された画像処理装置から端末装置に対しておこなわれるジョブ結果通知方法において、画像処理装置では、指示されたコピージョブまたは印刷ジョブが完了したか、何らかの理由により中断したとき、前記画像処理装置の URL 情報を含む電子メールを前記ジョブの要求元のメールアドレスに対して送信し、前記メールアドレスの端末装置では、表示されたブラウザを介した指示により前記 URL 情報の示す前記画像処理装置内の情報源にアクセスし、その情報源から前記ジョブの先頭ページのサムネイル画像データを取得することを特徴とするジョブ結果通知方法。

【請求項 4】 請求項 2 または請求項 3 記載のジョブ結果通知方法において、前記メールアドレスは、利用者を示すユーザーコードと関連づけられてあらかじめ登録されていることを特徴とするジョブ結果通知方法。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、ネットワークに接続されたデジタル複写機やプリンタなど画像処理

装置における画像処理ジョブ結果通知方法に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

事業所内に設置されたLANなどネットワークインフラの普及に伴い、デジタル複写機、プリンタ、スキャナなどをネットワークに接続し、複数の端末装置（クライアント装置、例えばネットワーク接続機能を備えたパーソナルコンピュータ）がそれらを共用する利用法も普及している。

そのような利用法により、従来、例えばネットワーク上のプリンタを用いる場合には、端末装置からプリンタに対してプリントジョブを発行し、プリンタからジョブ発行元の端末装置に対しては、ジョブ終了通知、エラー通知、ジョブ実行中通知などを発行していた。

特開 2 0 0 1 - 2 1 6 1 0 5 公報に示された従来技術はこのような従来技術の一つであり、ネットワークに接続されたパーソナルコンピュータおよびプリンタを有し、そのパーソナルコンピュータは電子メール以外の手段によりプリントデータをプリンタへ送り、プリンタはプリントデータ中からプリントジョブ発行元の電子メールアドレスを抽出し、その電子メールアドレスを用いて電子メールにより所定の情報を通知する。

また、特開 2 0 0 0 - 2 0 0 2 2 6 公報に示された従来技術では、ネットワークに接続されたスキャナやプリンタを有し、そのスキャナにより原稿上の画像を読み取らせ、読み取った画像データをネットワークを介してプリンタへ送り、そのプリンタで紙上にプリント出力することによりコピーをおこなうことができるし、その際、そのスキャナに電子メール宛先を設定することにより、そのスキャナまたは前記プリンタにおけるコピージョブの状態をその電子メール宛先へ通知させることができる。

【特許文献 1】 特開 2 0 0 1 - 2 1 6 1 0 5 公報

【特許文献 2】 特開 2 0 0 0 - 2 0 0 2 2 6 公報

【0 0 0 3】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、前記した特許文献 1、2 の従来技術においては、ジョブの完了

や中断が遠隔の端末装置へ通知されたとき、例えば複数のジョブを依頼しておいた場合など、通知のあったジョブがどのようなジョブなのか確実に把握することが困難であるという問題があった。

本発明の目的は、このような従来技術の問題を解決することにより、具体的には、ジョブの完了や中断が遠隔の端末装置へ通知されたとき、複数のジョブを依頼しておいた場合などであっても、通知のあったジョブがどのようなジョブなのか確実に把握することができるジョブ結果通知方法などを提供することにある。

【 0 0 0 4 】

【課題を解決するための手段】

前記の課題を解決するために、請求項 1 記載の発明では、ネットワークに接続された画像処理装置において、入力された画像データについてサムネイル画像データを作成するサムネイル画像作成手段と、指示された実行中のコピージョブまたは印刷ジョブが完了したか、または何らかの理由により中断したとき、前記ジョブの先頭ページのサムネイル画像データを添付した電子メールを前記ジョブ要求元のメールアドレスに対して送信する送信手段とを備えたことを特徴とする。

また、請求項 2 記載の発明では、ネットワークに接続された画像処理装置のジョブ結果通知方法において、指示された実行中のコピージョブまたは印刷ジョブが完了したか、または何らかの理由により中断したとき、前記ジョブの先頭ページのサムネイル画像データを添付した電子メールを前記ジョブの要求元のメールアドレスに対して送信する構成にしたことを特徴とする。

また、請求項 3 記載の発明では、ネットワークに接続された画像処理装置から端末装置に対しておこなわれるジョブ結果通知方法において、画像処理装置では、指示されたコピージョブまたは印刷ジョブが完了したか、何らかの理由により中断したとき、前記画像処理装置の URL 情報を含む電子メールを前記ジョブの要求元のメールアドレスに対して送信し、前記メールアドレスの端末装置では、表示されたブラウザを介した指示により前記 URL 情報の示す前記画像処理装置内の情報源にアクセスし、その情報源から前記ジョブの先頭ページのサムネイル画像データを取得する構成にしたことを特徴とする。

また、請求項 4 記載の発明では、請求項 2 または請求項 3 記載の発明において

、前記メールアドレスは、利用者を示すユーザーコードと関連づけられてあらかじめ登録されている構成にしたことを特徴とする。

【 0 0 0 5 】

【発明の実施の形態】

以下、画像処理装置がデジタル複写機の場合について図面により本発明の実施の形態を詳細に説明する。

図 1 は本発明の一実施例を示すデジタル複写機の場合の概念図である。図示したように、この実施例のデジタル複写機は圧板上に置かれた原稿上をスキャンして画像を読み取る読み取りユニット 5 0 を備えている。この読み取りユニット 5 0 は原稿を載置するコンタクトガラス 7 と光学走査系で構成されており、光学走査系には、露光ランプ 5 1、第 1 ミラー 5 2、レンズ 5 3、CCD イメージセンサ 5 4などを備えている。また、その露光ランプ 5 1 および第 1 ミラー 5 2 は図示していない第 1 キャリッジ上に固定され、第 2 ミラー 5 5 および第 3 ミラー 5 6 が図示していない第 2 キャリッジ上に固定されている。そして、原稿像を読み取るときには、光路長が変わらないように、第 1 キャリッジと第 2 キャリッジとが 2 対 1 の相対速度で機械的に走査される。このような光学走査系が図示していないスキャナ駆動モータにより駆動され、それにより、原稿画像が CCD イメージセンサ 5 4 によって読み取られ、電気信号に変換され処理されるのである。

また、このデジタル複写機は、図 1 に示したように、シート原稿を自動的に読み取るための自動原稿送り装置 (ADF) 1 を備えている。この自動原稿送り装置 1 では、原稿台 2 に置かれた原稿が給送ローラ 3 によって原稿読み取りセンサ 6 の位置に送り込まれ、その原稿がそのまま一定の速度で原稿読み取りセンサ 6 の上を通過し、このとき、原稿の画像が原稿読み取りセンサ 6 によって読み取られる。さらに、読み取られた画像データは MTF 補正、フィルタ処理、圧縮などの画像処理を施され、その後、順次画像メモリに蓄えられる。なお、この実施例では、画像読み取りセンサ 6 は密着型の等倍 CCD デバイスなどを想定している。

また、このデジタル複写機は、書き込みユニット 5 7 を備えている。図 1 に示したように、この書き込みユニット 5 7 はレーザ出力ユニット 5 8、結像レンズ

59、ミラー60を備え、そのレーザ出力ユニット58の内部には、レーザ光源であるレーザダイオードおよびモータによって高速で定速回転する多角形ミラー（ポリゴンミラー）を備えている。そして、書き込みユニット57から出力されるレーザ光が画像作像系の感光体15に照射される。

【0006】

感光体15に作像された画像を印刷する手順はおおよそ以下の通りである。

まず、第1トレイ8、第2トレイ9、第3トレイ10などに積載された転写紙が各々第1給紙装置11、第2給紙装置12、第3給紙装置13によって給紙され、縦搬送ユニット14によって感光体15に当接する位置まで搬送される。一方、メモリ上の画像データが書き込みユニット57からのレーザーによって感光体15に書き込まれ、現像ユニット27を通過することによってトナー像が形成される。そして、転写紙が感光体15の回転と等速で搬送ベルト16により搬送されている状態で、感光体15上のトナー像がその転写紙に転写される。その後、定着ユニット17により画像が転写紙に定着され、その転写紙が排紙ユニット18によって排紙トレイ19に排出される。なお、定着ユニット17は、ローラーの薄肉化と大電力ヒータにより数秒で定着可能になるように構成されている。

また、転写紙の両面に画像を作像する場合は、図1または図2に示したように、各給紙トレイ8～10から給紙され作像された転写紙を反転経路切替爪115を切り替えることにより、排紙トレイ19側に導かないで両面入紙搬送路113に搬送し、反転ユニット112でスイッチバック反転し、用紙揃えジョガー117で両サイドをそろえた後、両面搬送ユニット111に送る。

両面搬送ユニット111に送られた転写紙は再度縦搬送ユニット14に送られて裏面に画像を印刷され、排紙される。なお、転写紙を単に反転して排出する場合は、反転ユニット112でスイッチバック反転した転写紙を反転排紙搬送路114に送り出して排紙する。

また、本体から排紙される転写紙はフィニッシャ200に排紙される。また、フィニッシャ200に排紙された転写紙をステープル処理する場合は、一旦ステープルスタックトレイ201にスタックする。そして、すべての転写紙がステープルスタックトレイ201に溜められた後、この用紙束がステープラユニット2

02により綴じられ、上排出トレイ203または下排出トレイ204に排出される。それに対して、ステープル動作を行なわない場合、転写紙はストレート排紙搬送路207を通り、同じように排紙トレイ203、204に排紙される。なお、排紙トレイ203、204は上下に移動することにより、ステープルスタックトレイ201あるいはストレート排紙搬送路207からの転写紙を選択的にどちらかに排紙させることができる。また、各排紙トレイ203、204には印刷済みの転写紙が残っているかどうかを検出するための用紙検知手段205、206が設けられている。

このようなデジタル複写機の制御ユニット要部の構成ブロック図を図3に示す。

図示したように、メインCPU21を内蔵したシステム制御部20を備え、そのメインCPU21が、操作部30、液晶ディスプレイ31、およびキー入力部32を用いた情報入力制御および表示出力制御、ADF1の制御、メインモータ25などの各種負荷制御、フィニッシュユニット200の制御などを行なっている。

【0007】

図4に、システム制御部20および画像処理部の構成ブロック図を示す。

図示したような構成で、例えばADF1内の原稿読み取りセンサ（例えばCCDセンサ）6により読み取られた画像信号は、A/Dコンバータ61によりデジタル信号に変換される。そして、デジタル信号に変換された画像信号は、シェーディング補正部62によりシェーディング補正された後、画像処理部63によりMTF補正、 γ 補正などがなされる。さらに、変倍処理部72を経由した画像データは変倍率に合わせて拡大縮小され、画像メモリコントローラ65へ送られる。そして、メモリコントローラ65に入ってきた画像データは一次圧縮処理をかけられてから画像メモリ66に書き込まれる。なお、ここまでの動作は、原稿読み込みを開始するとそのページすべてをメモリに書き込むまで停止することなく実行される。

画像メモリ66に書きこまれたビットマップ画像データ（画像イメージのデータ）は2次圧縮部67により2次圧縮され、ハードディスク装置（HDD）68

に書きこまれる。なお、この動作は原稿から読み取って画像メモリ 6 6 に画像データを書き込む動作とは同期せずにおこなうことができるように構成されている（つまり、画像データが画像メモリ 6 6 に格納された後は、HDD 6 8 がレディー状態になっていれば任意のタイミングで HDD 6 8 へ転送可能である）。

また、このとき、画像メモリ 6 6 に書き込まれた画像データについてページごとに、または先頭ページのみ、j p e g または t i f f など汎用画像フォーマットでサムネイル画像データが作られ、これも HDD 6 8 に保存される。なお、サムネイル画像データとは、例えば、画像イメージにマッピングされた（整列された）一つのページの各画素データについて、主走査方向（例えば水平方向）および副走査方向（例えば垂直方向）とも間引きをおこなうことにより、画像を縮小したものである。

また、画像メモリ 6 6 に書き込まれた画像データを印刷する場合は、画像メモリ 6 6 からメモリコントローラ 6 5 に画像データが送られ、そこから書き込みγ補正ユニット 7 1 を経由し書き込みユニット 5 7 へ送られる。そして、書き込みユニット 5 7 に送られた画像データにより感光体上に潜像を作成し、これを現像化することでコピー画像を得る。なお、画像を印刷しない場合（単に HDD 6 8 に蓄積だけしておく場合）はこの印刷動作は行なわない。

【 0 0 0 8 】

また、システム制御部 2 0 には、前記したメイン CPU 2 1 の他に図 4 に示した ROM 6 9、RAM 7 0、ネットワークインタフェースコントローラ（NIC）7 3 を備えている。そして、ネットワーク経由で NIC 7 3 を介して例えば印刷要求が送信されてくると、メイン CPU 2 1 はページ記述言語（PDL）で記述された印刷内容を解析し、ビットマップ画像データに変換する。さらに、そのビットマップ画像データを画像メモリ 6 6 に書き込むとともに、2 次圧縮後、HDD 6 8 にも保存する。また、コピーの場合と同様に、そのビットマップ画像データのサムネイル画像データも t i f f などのフォーマットで HDD 6 8 に保存する。

また、この NIC 7 3 は、内部に電子メールプロトコル（通信手順）を内蔵しており、このデジタル複写機のメールアドレスと送信内容をその電子メールプロ

トコルに従って外部ネットワークに送信することができる。さらに、このNIC 73にはWebページ（各ページの情報がくもの巣状にリンクされている）サーバー機能も搭載しており、外部からページの表示要求があると、このデジタル複写機のジョブ実行状態や中断・異常発生状態などを複数ページにレイアウトしたHTMLファイルを要求元に対して送信することができる。

なお、この実施例では、請求項1記載のサムネイル画像作成手段がメインCPU 21により実現され、送信手段がNIC 73により実現される。

【0009】

次に、このデジタル複写機のキー入力部32などにより指示されたコピージョブについて、ネットワークを介して結果を通知する際の動作フローを図5に示した動作フローに従って説明する。なお、コピー動作を開始するとき、液晶ディスプレイ31の画面にはユーザーコードの入力を促すメッセージが表示されている（図6参照）（S1）。

そこで、利用者がキー入力部32により自分のユーザーコードを入力すると、メインCPU（以下、CPUと略す）21は、入力されたユーザーコード（数値）を、予めHDD68内に登録され、RAM70に読み出されているユーザーコードテーブル（図9参照）中のユーザーコードと照合する（S2）。なお、ユーザーコードは利用者を制限するための認証番号もかねており、この番号がテーブル上に存在した場合のみ、コピー可能とする。

照合の結果、入力されたユーザーコードがユーザーコードテーブル中に存在しなければ（S2でNO）、図6に示した画面を再表示して再度のユーザーコード入力を求める（S3）。また、ユーザーコードテーブル中に存在するならば（S2でYES）、CPU21はジョブ状態通知メールを送信するか否かを選択させる画面を表示する（図7参照）。そして、利用者が「はい」または「いいえ」を選択するとその選択結果を示す情報を記憶し、コピー可能画面を表示させ（図8参照）、コピージョブ設定をおこなわせ、コピージョブを開始させる（S4）。

こうして、その後、コピージョブが完了または中断すると（S5でYES）、前記において「はい」が選択された場合、先に入力されたユーザーコードに対応するメールアドレスに対して、図10に示したようなサムネイル画像付きの電子

メールを送信する（S 6）。なお、この例では、ユーザーコードとして“11112222”が入力され、したがって、対応するアドレスである“motoki@copy.icoh.co.jp”に対して電子メールを送っている。

【0 0 1 0】

図 1 0 に示したように、この電子メールの本文には、受け付けた際のユーザーコードと、ジョブ状態情報（図示の例では「完了」状態を示している）、受付時間、原稿枚数、当該複写機の URL 情報などを記載するとともに、ジョブの先頭ページのサムネイル画像を添付する。したがって、利用者はどの複写機でどのジョブが完了または中断したかを容易に知ることができる。

なお、前記においては、デジタル複写機の実行するジョブがコピージョブの場合で説明したが、印刷ジョブであってもよい。この場合、ユーザーコード（またはメールアドレス）を伴った印刷ジョブ要求が端末装置からデジタル複写機へ送られてくる。

また、指示されたコピージョブまたは印刷ジョブが完了したか、何らかの理由により中断したとき、サムネイル画像データを送らずに、完了または中断を示すジョブ状態情報と、このデジタル複写機の URL 情報を記載した電子メールを指示されたメールアドレスの端末装置へ送信し、その端末装置では、表示されたブラウザを介した指示により前記 URL 情報の示す情報源にアクセスし、その情報源から前記ジョブの先頭ページのサムネイル画像データを取得し表示させるようにしてもよい。このような表示例を図 1 1 に示す。

【0 0 1 1】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、請求項 1 および請求項 2 記載の発明では、ネットワークに接続された画像処理装置において、入力された画像データについてサムネイル画像データが作成され、指示された実行中のコピージョブまたは印刷ジョブが完了したか、または何らかの理由により中断したとき、そのジョブの先頭ページのサムネイル画像データを添付した電子メールがジョブ要求元のメールアドレスに対して送信されるので、複数のジョブを依頼しておいた場合などであっても、利用者はそのサムネイル画像を見ることにより通知のあったジョ

ブがどのようなジョブなのか確実に把握することができる。

また、請求項 3 記載の発明では、画像処理装置では、指示されたコピージョブまたは印刷ジョブが完了したか、何らかの理由により中断したとき、その画像処理装置の URL 情報を含む電子メールをジョブ要求元のメールアドレスに対して送信し、そのメールアドレスの端末装置では、表示されたブラウザを介した指示によりその URL 情報の示す画像処理装置内の情報源にアクセスし、その情報源から当該ジョブの先頭ページのサムネイル画像データを取得するので、請求項 1 または請求項 2 記載の発明の効果が得られるし、電子メールに画像を添付する必要がないことから、メールサーバーなどの負荷が増えないで済む。

また、請求項 4 記載の発明では、請求項 2 または請求項 3 記載の発明において、ジョブ要求元のメールアドレスが利用者を示すユーザーコードと関連づけられてあらかじめ登録されているので、ジョブを指示する際、ユーザーコードさえ入力すれば、メールアドレスを入力しなくて済む。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の一実施例を示すデジタル複写機の概念図である。

【図 2】

本発明の一実施例を示すデジタル複写機要部の概念図である。

【図 3】

本発明の一実施例を示すデジタル複写機要部の構成ブロック図である。

【図 4】

本発明の一実施例を示すデジタル複写要部の他の構成ブロック図である。

【図 5】

本発明の一実施例を示すデジタル複写機の動作フロー図である。

【図 6】

本発明の一実施例を示すデジタル複写機の画面図である。

【図 7】

本発明の一実施例を示すデジタル複写機の他の画面図である。

【図 8】

本発明の一実施例を示すデジタル複写機その他の画面図である。

【図 9】

本発明の一実施例を示すデジタル複写機要部のデータ構成図である。

【図 1 0】

本発明の一実施例を示す画像処理ジョブ中断通知方法の説明図である。

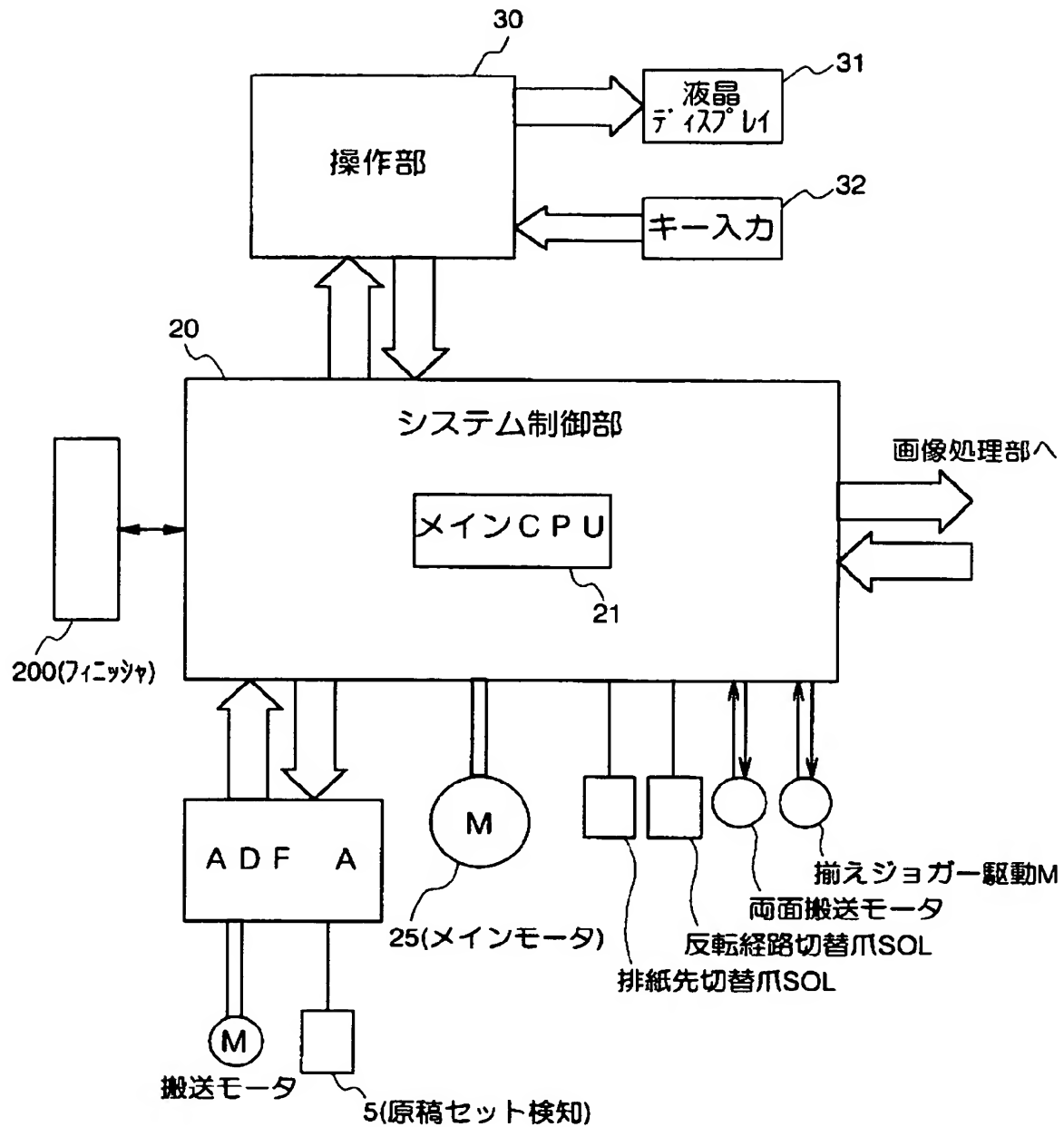
【図 1 1】

本発明の一実施例を示す画像処理ジョブ中断通知方法の画面図である。

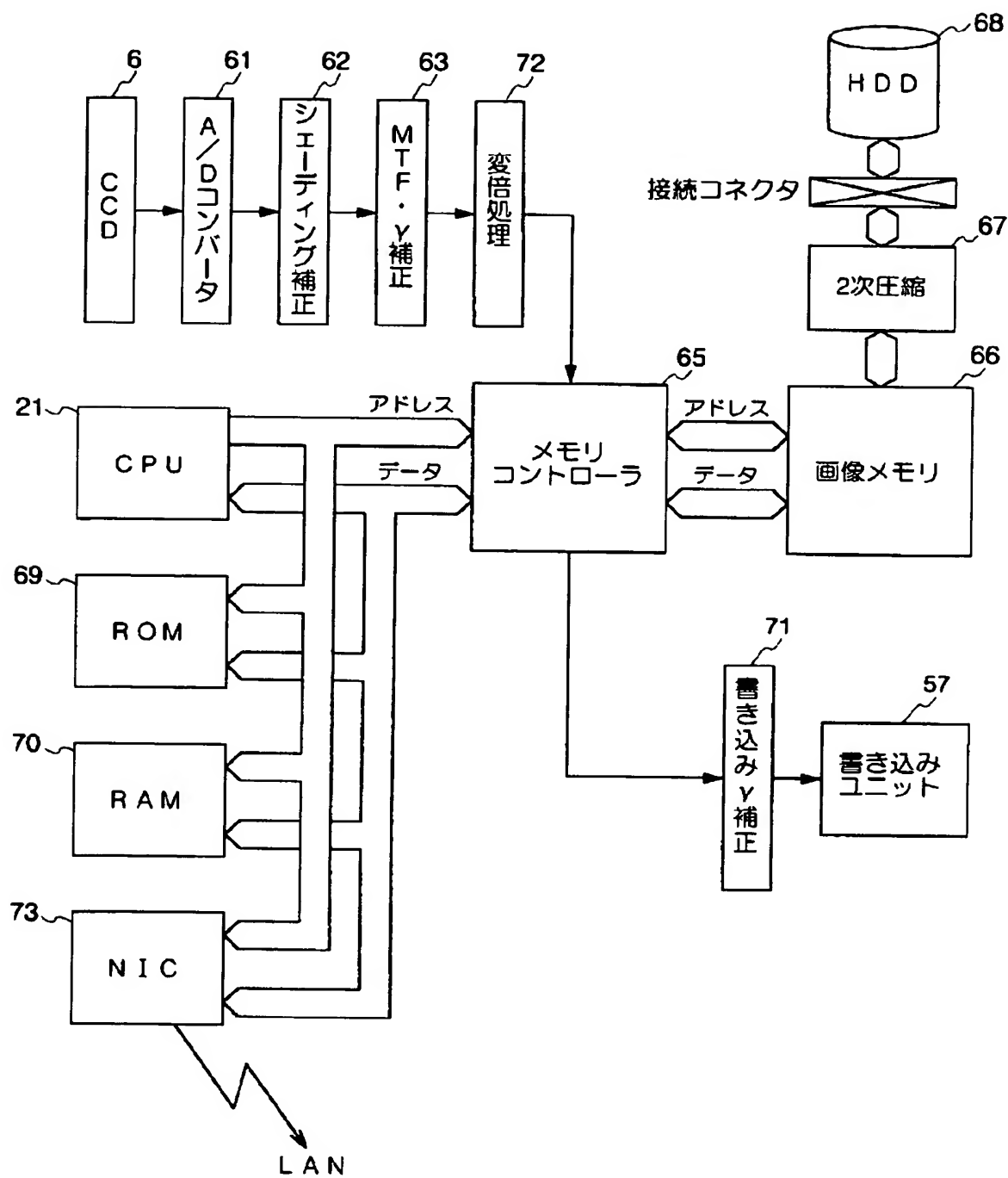
【符号の説明】

- 2 0 システム制御部
- 2 1 メイン C P U
- 3 0 操作部
- 3 1 液晶ディスプレイ
- 3 2 キー入力部
- 6 5 メモリコントローラ
- 6 6 画像メモリ
- 6 8 ハードディスク装置
- 7 0 R A M
- 7 3 ネットワークインタフェースコントローラ

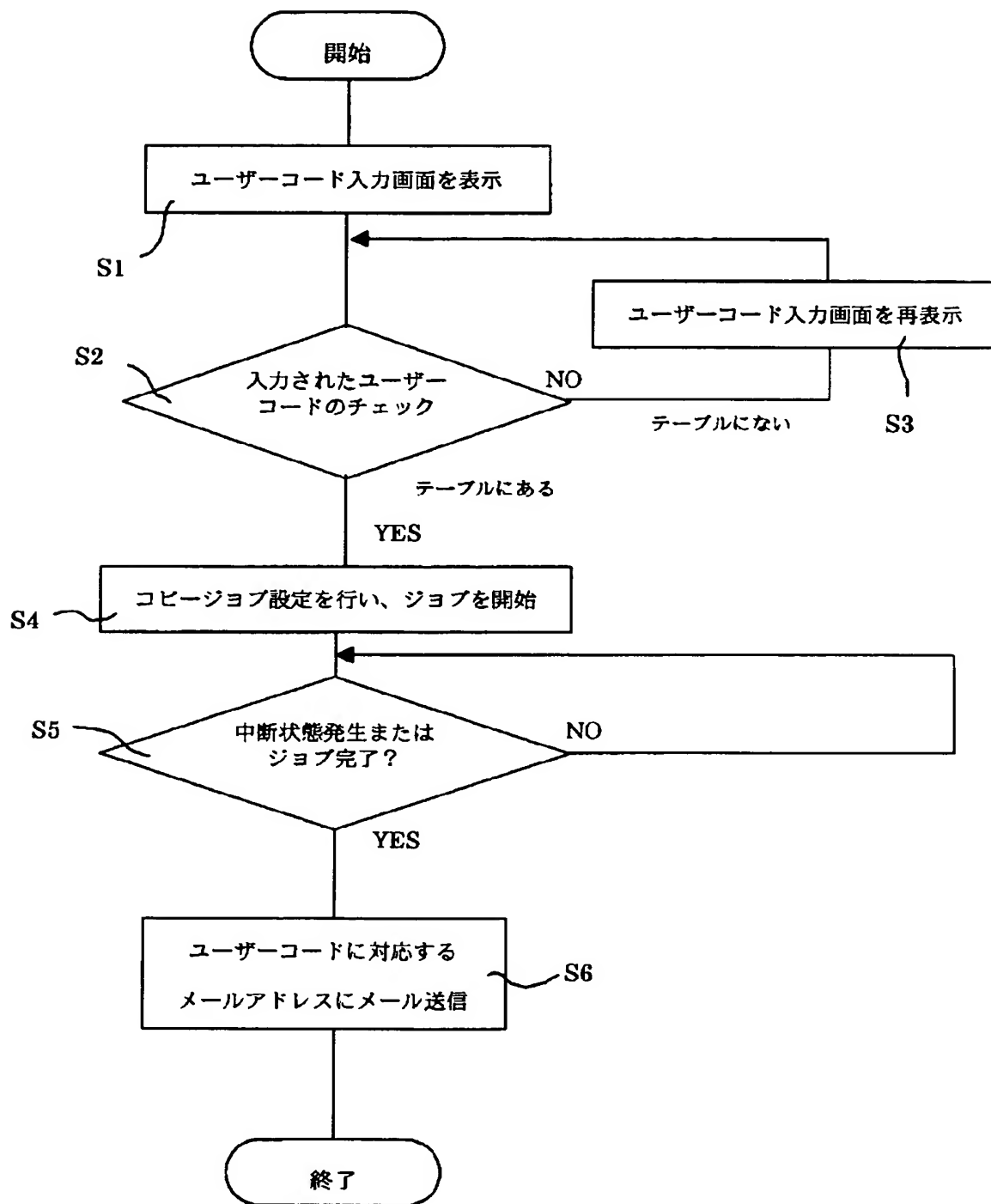
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【図 6】

ユーザーコードを入力してください

OK

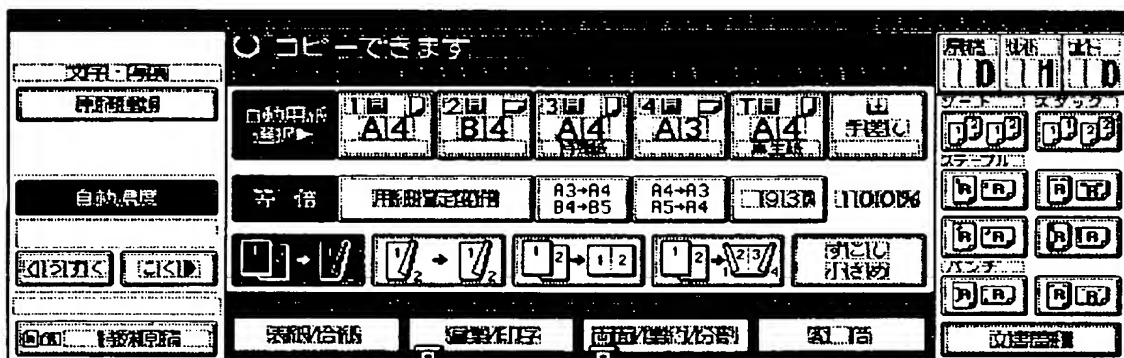
【図 7】

ジョブ完了・中断時に、メール送信しますか？

はい

いいえ

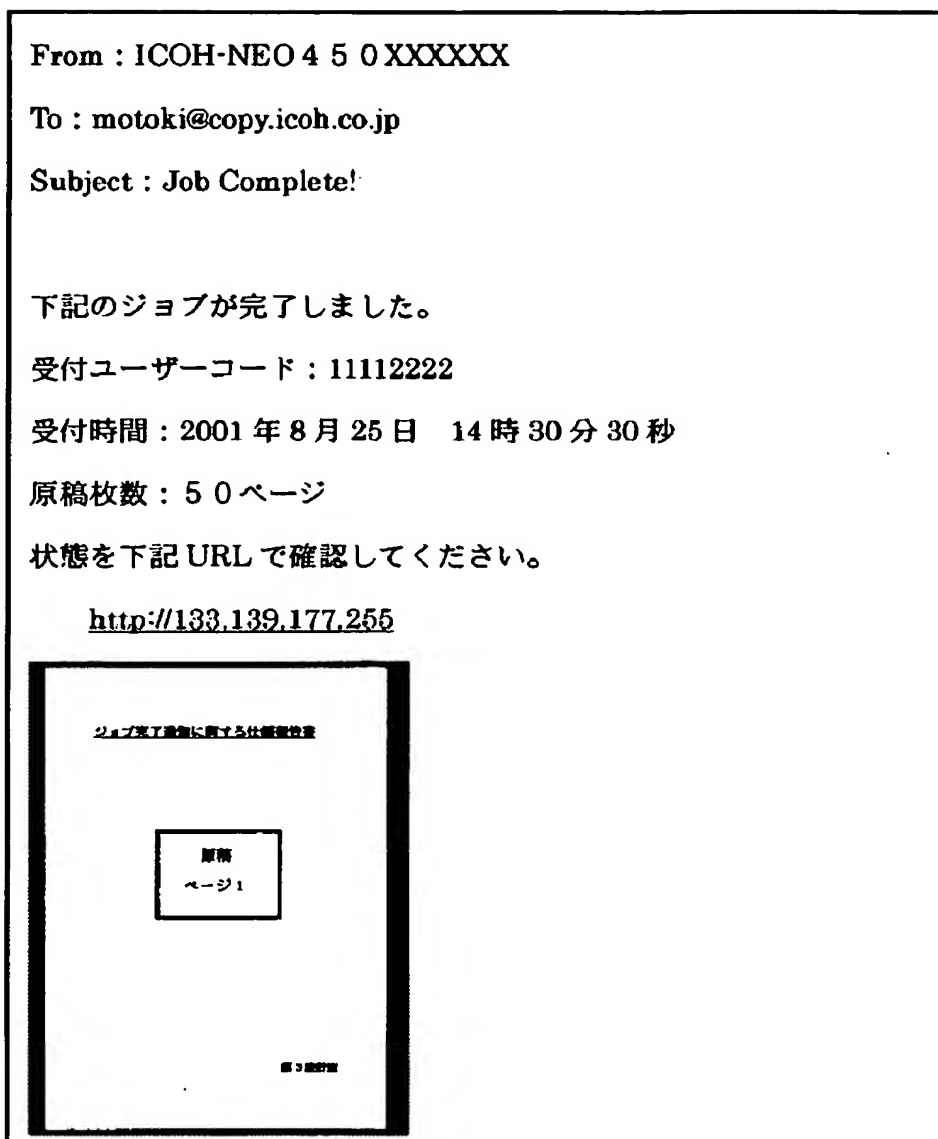
【図 8】



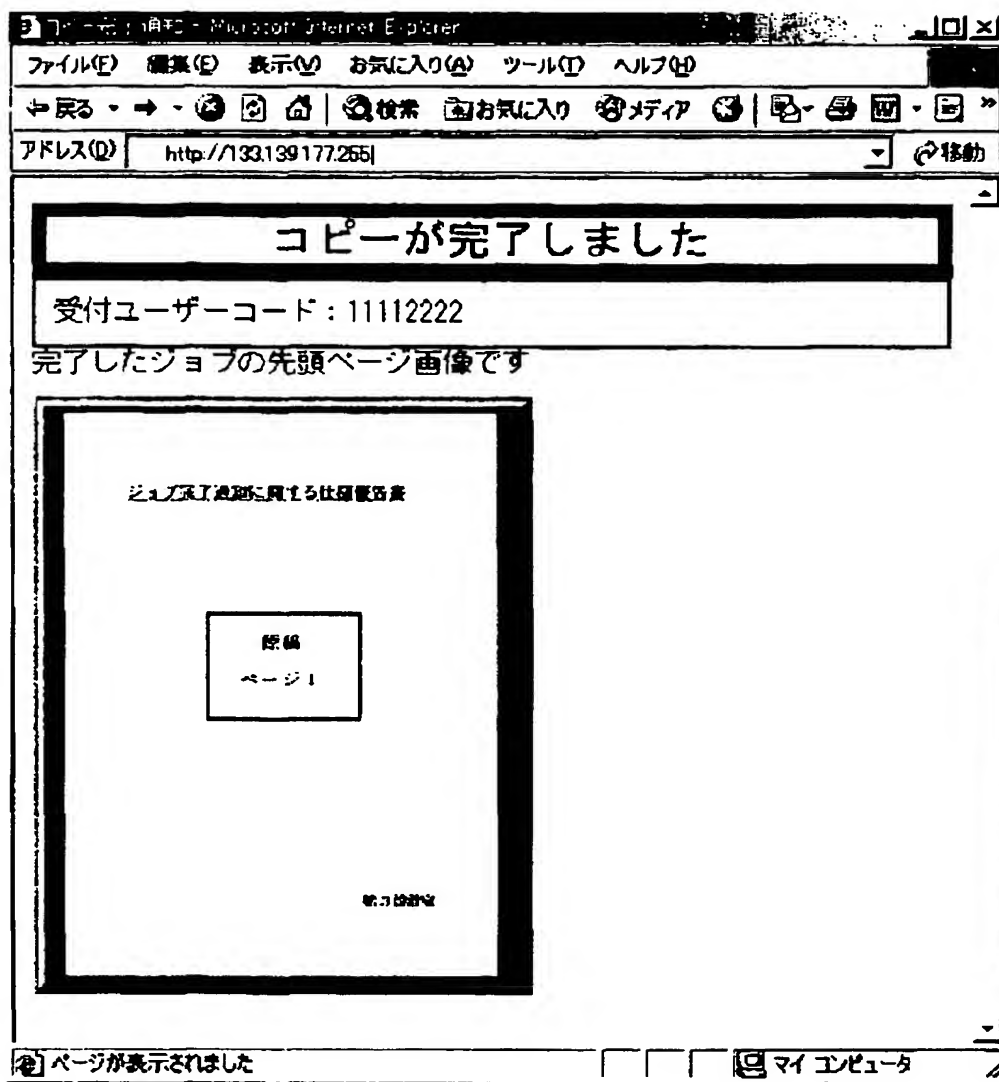
【図 9】

No.	ユーザーコード	アドレス
1	11112222	motoki@copy.icoh.co.jp
2	12345678	sakurai@copy.icoh.co.jp
3	98765432	ichimura@copy.icoh.co.jp

【図 10】



【図 11】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 ジョブの完了や中断が遠隔の端末装置へ通知されたとき、複数のジョブを依頼しておいた場合などであっても、通知のあったジョブがどのようなジョブなのか確実に把握することができるジョブ結果通知方法などを提供する。

【解決手段】 ネットワークに接続された画像処理装置のジョブ結果通知方法において、利用者が自分のユーザーコードを入力すると、ユーザーコードとメールアドレスとを対応づけて持つユーザーコードテーブル中のユーザーコードと照合し（S 2）、入力されたユーザーコードがユーザーコードテーブル中に存在するならば（S 2でYES）、コピージョブ設定をおこなわせ、コピージョブを開始させる（S 4）。その後、コピージョブが完了または中断すると（S 5でYES）、先に入力されたユーザーコードに対応するメールアドレスに対して、サムネイル画像付きの電子メールを送信する（S 6）構成にした。

【選択図】 図 5

特願 2 0 0 2 - 3 2 0 0 5 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 6 7 4 7]

1. 変更年月日

2 0 0 2 年 5 月 1 7 日

[変更理由]

住所変更

住 所

東京都大田区中馬込 1 丁目 3 番 6 号

氏 名

株式会社リコー